

あおぞら銀行グループ外部調達方針

1. 基本的な考え方

私たちの経済・社会は、他者との取引を通じて互いに様々な便益を享受することで成り立っており、事業活動も、システム、ファシリティを含む業務に必要な物品・サービスの購入や業務委託等(以下、「外部調達」という。)に関するサプライヤーの協力によって支えられています。

あおぞら銀行グループは、サプライヤーと協働し、環境課題や人権等社会課題に配慮した責任ある外部調達活動を進めることで、社会のサステナブルな発展に積極的に貢献します。

2. 外部調達方針の位置づけ

あおぞら銀行グループは、自社のみならずサプライチェーンを通じた環境・人権への取り組みを経営上の重要な課題と認識しております。「あおぞら銀行グループ外部調達方針」は、経営理念に沿って定める「倫理・行動基準」のもとで策定された「あおぞら銀行グループ環境方針」、「あおぞら銀行グループ人権方針」に基づき、外部調達への取り組み方針を定めるものです。

3. あおぞら銀行グループ外部調達方針

① サプライヤーの公正な決定

- 適正な品質やサービス、納期の遵守、経済合理性、法令等の遵守、情報管理、人権の尊重、環境への配慮などを総合的に考慮して、公正にサプライヤーを決定し、業務委託等継続取引の場合は必要に応じサプライヤーのモニタリングを実施します。

② 法令・社会的規範の遵守

- 各種法律、ルール及び社会的規範を遵守し、外部調達活動を行います。
- 社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは断固として対決し、関係遮断を徹底します。
- サプライヤーとは、対等かつ透明な関係を保ちます。そのため、サプライヤーとの間で、社会的規範に反するような接待や贈答の授受は行いません。

③ 人権の尊重・環境への配慮

- 外部調達活動における人権の尊重と、気候変動や生物多様性などに関する環境負荷低減に取り組みます。

④ サプライヤーとの協働

- あおぞら銀行グループは、すべてのサプライヤーをパートナーとして尊重し、対等かつ誠実な対応により信頼・協力関係の維持に努めます。また、サプライヤーとの相互理解のもと共に社会のサステナブルな発展に貢献するため、本外部調達方針を一般に公開し、サプライヤーとのコミュニケーションを通じて、人権の尊重・環境への配慮を実践します。

4. サプライヤーに対する期待事項

あおぞら銀行グループは、第 3 条の方針に沿った外部調達を行うため、サプライヤーに対し、以下の内容に関する理解と協力を期待します。

- ① 法令・社会的規範の遵守
 - ・ 各種法令、ルール及び社会的規範の遵守
- ② 情報管理
 - ・ 個人情報の保護に関する法律および関係法令に基づく適切な情報の管理
- ③ 人権の尊重
 - ・ 従業員に対する安全で働きやすい労働環境の提供
 - ・ 差別・ハラスメントの防止
 - ・ 法令に基づく結社の自由・団結交渉権の尊重
 - ・ サプライチェーンを含む事業活動全体における、児童労働、強制労働、人身取引に関与しないための十分な配慮
- ④ 環境への配慮
 - ・ 資源やエネルギーの使用の抑制
 - ・ 低炭素・脱炭素エネルギーの使用や温室効果ガスの削減
 - ・ 廃棄物の削減、再利用・再生使用による資源の有効活用
 - ・ 環境や人に影響を与える物質の使用や排出の抑制
 - ・ 森林などの天然資源の持続可能な利用
 - ・ 生物多様性や生態系への影響配慮